

Topics

～すみだの商店街イベントが、都内で一番に～

「キラキラ橋 ほくほく！北斎」が東京商店街グランプリに選ばれました

東京都主催「第16回東京商店街グランプリ」において、向島橋銀座商店街協同組合のイベント「キラキラ橋 ほくほく！北斎」が商店街部門でグランプリに選ばれました。

東京商店街グランプリとは、都内約2,700ある商店街の中から、積極的かつ先進的な取組を実施した商店街を表彰、紹介することで、都内商店街全体の活性化を図る事業です。

「キラキラ橋 ほくほく！北斎」は、令和2年11月の2日間で実施されたイベントです。商店街全体をイベント会場として地域学生や社会人団体、地元アイドルなどと連携してイベントを作りあげ、若い世代やファミリー層の集客に成功したことや、葛飾北斎という地域資源を活用しつつ、QRコードを用いた非接触形式を採用したことなどが評価され、グランプリを受賞しました。



向島橋銀座商店街協同組合事務局長の大和氏(写真左)と(一社)シアターキューブリックの奥山氏(写真右)

墨田区の業況

<今期 来期予想>

製造



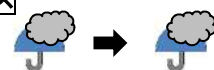
卸売



小売



サービス



建設



不動産



詳細は6ページへ



紹介動画はこちら

～脱炭素社会の実現を目指して～

「すみだゼロカーボンシティ 2050 宣言」を表明しました



宣言文を持つ山本区長(写真左)と木内議長(写真右)

宣言全文及び詳細は
こちら
(区ホームページ)



令和3年10月、山本区長と木内議長が「すみだゼロカーボンシティ 2050 宣言」を表明しました。

同年5月に「SDGs 未来都市」及び「自治体 SDGs モデル事業」に選定された本区は、地球温暖化を防ぐための行動を加速させ、2050年に二酸化炭素排出実質ゼロを目指します。

かけがえのない地球を子どもたちに引き継ぎ、環境にやさしい持続可能な「すみだ」を実現するためには、区民・事業者・区の協働が欠かせません。

区は今後、区民目線で実践可能な取組の普及や環境教育の取組を強化するとともに、区の事業所としての環境に配慮した取組を率先して進め、脱炭素社会に向けたまちづくりを推進していきます。

PICK UP 企業 (2021年7月～9月)

注目の区内企業を取材し、毎月ホームページ上で紹介しています。

7～9月に紹介した企業はありませんでした。

ホームページには、過去の取材記事が掲載されていますので、ぜひご覧ください。



掲載ページはこちら

【特集】「すみだ地域ブランド戦略」がリニューアル！

区は、2009年から実施してきた「すみだ地域ブランド戦略」を2021年9月にリニューアルし、新「すみだモダン」として再始動しました。

これまでの「すみだモダン」

「すみだ地域ブランド戦略」は、東京スカイツリー®の誘致決定を機に、“ものづくりのまち”としての産業ブランド力を国内外にPRする目的で2009年からスタートしました。

その中で、区内で生まれた価値の高い商品・飲食店メニューを発掘・認証する「すみだモダンブランド認証」事業として、制度開始からの10年間で約200件を認証しました。

そのほか、区内事業者と著名デザイナーによる「ものづくりコラボレーション」事業も展開しました。国内外の催事や展示会への出展等、販路拡大事業も含めて区内のものづくりを活性化する優れた活動として評価され、2015年度にグッドデザイン賞を受賞しました。

リニューアルの経緯

これまでの「すみだ地域ブランド戦略」における継続的な活動は、墨田区の“ものづくりのまち”としてのイメージアップ・認知度向上に一定の成果を上げました。

一方で、近年の消費者の購買活動は、商品の機能やデザイン、価格等の「見た目の重視」から、事業者の理念や職人の想い、バックグラウンド等、「ストーリー性」を重視する価値基準へと変化してきており、また区内産業においても、SDGsや社会課題の解決等に果敢に取り組む事業者が現れるようになりました。これを新たな時代への転換期と捉え、2019年から「すみだ地域ブランド戦略」リニューアル構想の検討を行いました。

そして、検討の結果、今後は従来の「商品そのもの」だけでなく、そのバックグラウンド



新ロゴマークとステートメント。ロゴマークは隅田川の流れと墨田区の「S」を、ステートメントは「ものづくりは未来づくりであり、こころを動かすもの」ということを表している

にある事業者の「活動」に光を当て、事業者とのパートナーシップによる、すみだならではの産業ブランド力の向上、ひいては「事業を新たに起こす・継続する」事業者を増やしていくといった、より実効性の高い戦略を打ち出し、新たなステージへと移行することとしました。

このことを体現する意味を込めて、これまでの活動によって市民権を得た「すみだモダン」の名称を、すみだ地域ブランド戦略推進事業そのものの名称として改め、その理念を再定義し、ロゴマークを刷新しました。

これからの「すみだモダン」

「墨田区を訪れてみたい」「墨田区で事業を新たに起こしてみたい」、そんな人々を増やしていくことを目的に、“ものづくり”のまちとしての知名度を高め、広く認知されることによって、地域のブランド価値を高めることを目指します。

また、「すみだモダン」を「ものづくりを通して未来のスタンダードを創造し、人々の幸せを育む活動」と定義し、以下の4つの理念に合致する事業者の活動を「すみだモダン」と呼んでいます。

- 「未来への約束を果たす（持続可能性）」
- 「知恵を集めて新しい価値を創る（共創性）」
- 「粋な視点と遊び心を大切にする（独自性）」
- 「様々な人の幸せなつながりを育む（多様性）」



持続可能性



共創性



独自性



多様性

主要な推進施策「つながる」, 「つくる」, 「つたえる」

1. つながる（すみだモダン パートナーシップ連携）

すみだモダンを実践する事業者（すみだモダンブルーパートナー）またはその理念に共感する事業者（すみだモダンオープンパートナー）とパートナーシップを結びます。

区は、これらの事業者が自由に参加できる「すみだモダンコミュニティ」を定期的開催し、新たな異分野連携やイノベーションを誘発する機会を創出します。

2. つくる（すみだモダン フラッグシップ商品開発）

クリエイティブディレクターの統括のもと、デザイナーと事業者の連携による商品開発を実施します。

デザイン経営の考え方を盛り込みながら、参加事業者同士によるワークショップや知財、マーケティングを学ぶ講演会に参加後、3年をかけて商品開発に取り組みます。

そのほか、区内大学の学生との連携によりプロジェクトの経過を記録・発信します。

3. つたえる（すみだモダン ブランドコミュニケーション展開）

すみだモダンの活動を、多様なメディアを通して広く発信し、多くの人々の共感を得ることでファンの獲得を目指します。

【主な発信事例】

- ・東京ミズマチ内の産業支援施設「SHOP & WORKSHOP すみずみ」の運営
- ・セレクト EC ショップ「スタイルストア」内のすみだモダン特設サイト
- ・書籍「SUMIDA MODERN」の流通
- ・ウェブサイト、各種 SNS の運用
- ・展示会、催事等への出店



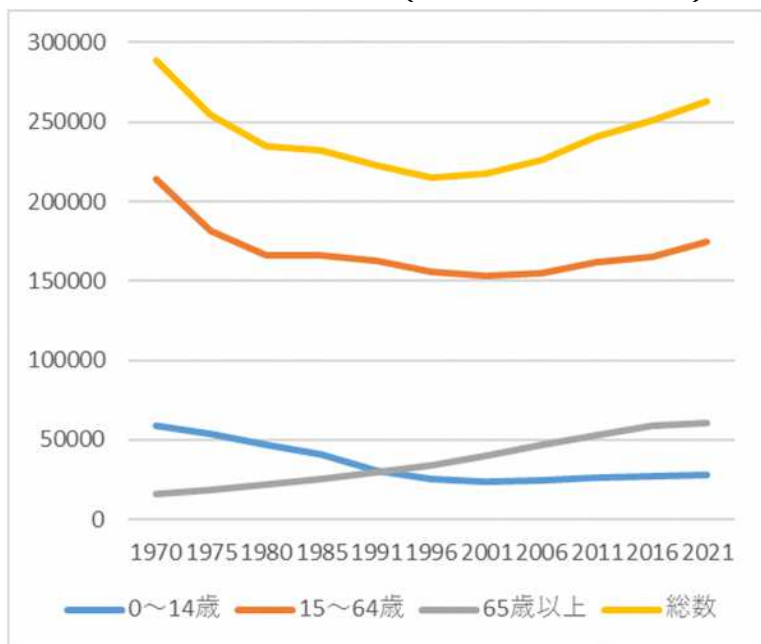
SUMIDA MODERN
マイクロサイト

すみだの産業を斬る

区内産業が置かれている現状の把握のためには客観的な指標であるデータの収集・分析が極めて重要です。このページでは、産業・観光に関するデータを収集・分析したものを紹介します。

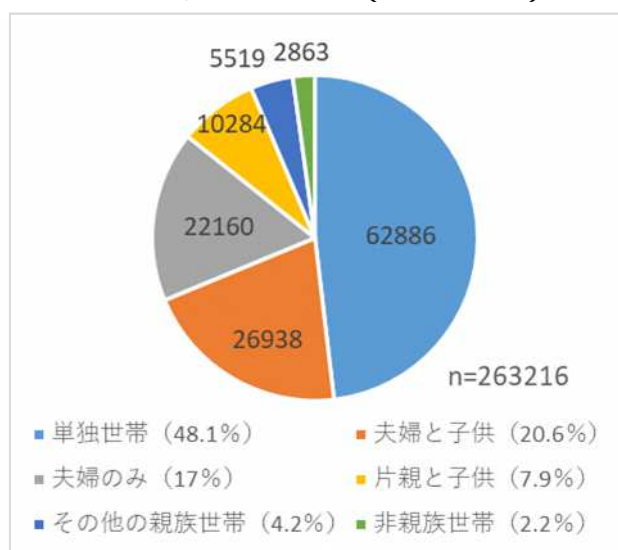
3階層別人口の推移及び家族累計別世帯数

3階層別人口の推移(1970～2021年)



出典：墨田区行政基礎資料集(2001～2021年度版)

家族累計別世帯数(2015年)



出典：墨田区行政基礎資料集(2021年度版)

今回は、墨田区における3階層別人口の推移及び家族累計別世帯数のデータを分析しました。

3階層別人口の推移を見ると、区内の生産年齢人口(15～64歳)は2000年以降増加し、同時に65歳以上の人口が増えているため、高齢化率は上昇傾向にあります。その中で、平成28年発行の「墨田区人口ビジョン」における人口の将来展望では、2030年頃を境に生産年齢人口が減少するという分析がされています。

そうしたことから、人口が増加することによって住宅が必要になり、廃業した企業の工場や店舗が他の企業の工場や店舗になることなく住宅に変わってってしまうことや、将来的な生産年齢人口が減少していくことで、区内産業の担い手が今以上に減っていくことなどが想定されます。

次に、家族累計別世帯数を見ると、単独世帯が62,886世帯で全体の48.1%と半数近くを占めており、2015年以前のデータと比較したところ、単独世帯の世帯数と全体に占める割合はともに増加傾向にあることがわかりました。また、国勢調査の結果を分析したデータから、区内常住就業者数(区内在住かつ在勤)が1960年頃には全体の約8割を占めていましたが、減少を続け、2015年時点では全体の約3割となっていることがわかっています。

このことから、単独世帯や区外在勤の区民等をターゲットに“ものづくりのまち すみだ”をPRし、「すみだファン」を増やしていくことが、これまで以上に重要になっていくことが考えられます。

すみサポ コラム

無料で簡単に市場データを入手して、次の一手を打ち出してみませんか？

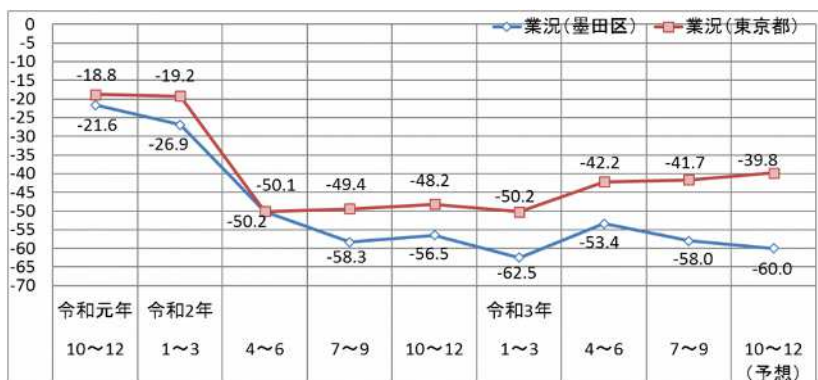
伸びている市場に参入することで成功する確率を高めることができます。今回は、特に簡単に市場データを調べることができるサイトを3つご紹介します。

<p>RESAS (リーサス)</p>  <p>https://resas.go.jp/</p>	<p>地域経済のデータを「見える化」するために開発されたツールです。</p> <p>例えば、観光マップのFrom-to分析で、【東京都墨田区】を指定し、【属性別の性別表示】を選択すると過去5年間、一貫して男性より女性の利用者が多いことが確認できます。宿泊事業者は女性に向けた取り組みをすることでより集客できると言えます。</p> 
<p>V-RESAS (ヴィリーサス)</p>  <p>https://v-resas.go.jp/</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響の把握等を目的としたツールです。都道府県、業種を絞って検索すると2019年度(コロナ前)と比較した市場データを得ることができます。</p> <p>例えば、都道府県を【東京】、エリアを【区東部】、業種を【飲食】に絞って確認すると「ファミレス・ファーストフード」のジャンルは比較的好調であることが分かります。</p> 
<p>グラレスタ</p> <p>生産動向をグラフで見る</p> <p>手順1：閲覧したい品目のキーワードを入力してください</p> <input type="text"/> <p>手順2：閲覧したい品目を選択してください</p> <p>品目を選択してください</p> <p>手順3：閲覧したい項目を選択してください</p> <p>項目を選択してください</p> <p>https://mirasapo-plus.go.jp/hint/14583/</p>	<p>10年分の1600品目におよぶ鉱工業製品の市場データが確認できるツールです。</p> <p>例えば、密を避けるために活用できる自転車の市場データを確認すると、一般的な自転車(軽快車)は、大きく減少していますが、逆に電動アシスト車は伸びていることが確認できます。電動アシスト車を扱う方が、成功する確率が高まると言えます。</p> 

すみだビジネスサポートセンター(すみサポ)では、市場データを活用した戦略立案のご相談を無料で行っています。ご興味のある事業者様、「すみサポ」にぜひご一報ください。(ご相談は、予約制となっています)

すみサポ お問い合わせ先 03-5608-6360

小売業

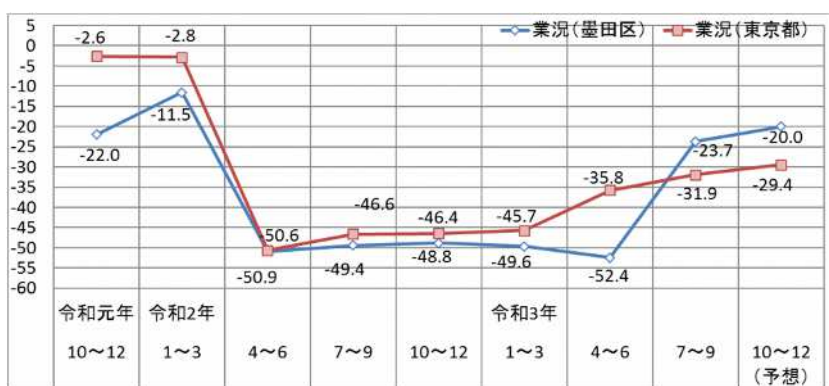


業況は 4.6 ポイント減の-58.0 と厳しさを若干強めた。

売上額は 0.5 ポイント減の-52.3 と前期並みで、収益は 5.7 ポイント減の-53.7 と厳しさを若干強めた。

販売価格は 8.4 ポイント増の-4.8 と下降傾向を弱め、仕入価格は 5.7 ポイント増の 2.6 と上昇に転じた。

サービス業

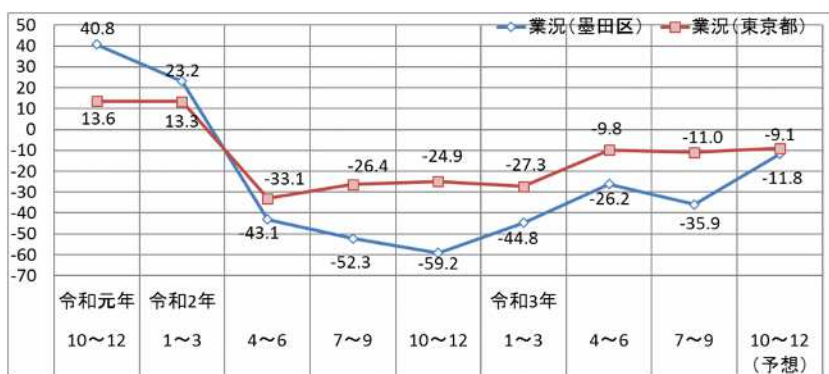


業況は 28.7 ポイント増の-23.7 と大きく改善した。

売上額は 15.7 ポイント増の-43.3、収益は 16.5 ポイント増の-36.6 とともに改善傾向がみられた。

料金価格は 9.0 ポイント減の-1.2 と下降に転じ、材料価格は 4.6 ポイント減の 11.6 と上昇傾向を若干弱めた。

建設業

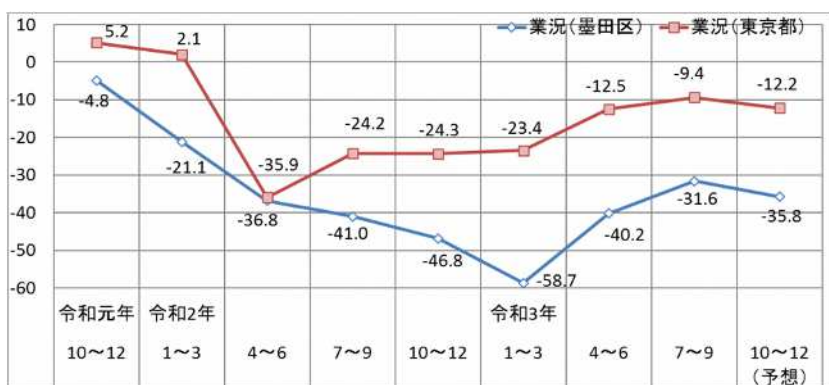


業況は 9.7 ポイント減の-35.9 と厳しさを強めた。

売上額は 50.7 ポイント減の-58.3 と厳しさを大きく強め、収益は 0.4 ポイント増の-43.6 と前期並みだった。

請負価格は 1.9 ポイント増の 4.5 と上昇を僅かに強め、材料価格は 0.8 ポイント減の 46.5 と横ばいだった。

不動産業



業況は 8.6 ポイント増の-31.6 と改善した。

売上額は 8.6 ポイント減の-32.9 と厳しさを強め、収益は 2.2 ポイント減の-32.9 と厳しさを若干強めた。

販売価格は 2.0 ポイント減の 10.5 と上昇傾向を若干弱め、仕入価格は 6.2 ポイント増の 10.8 と上昇傾向を強めた。

**「すみだ企業ガイド」や「すみだ産業情報メールニュース」を
ぜひご活用ください！**

WEB サイト「すみだ企業ガイド」では、区内製造業を中心とした企業情報を掲載しており、発行日現在では、約 1500 社が掲載されています。

目的や地域、キーワードでの絞り込み検索が可能ですので、ぜひ、製品の受発注等にご活用ください。



すみだ企業ガイド
はこちら



メールニュースの
登録はこちら

また、「すみだ産業情報メールニュース」では、区、東京都、国などの事業やイベント、補助金といった各種産業情報を電子メールで無料配信しています。ぜひご登録ください。

問合せ先 墨田区産業観光部産業振興課
☎5608 - 1437 (直通)